

契約当事者市町別の相談件数

令和元年度（平成31年4月～令和元年9月）

市町名	R元年度件数	H30年度件数	増減	対前年度比	市町名	R元年度件数	H30年度件数	増減	対前年度比
津市	209	272	-63	76.8%	朝日町	13	13	0	100.0%
四日市市	116	114	2	101.8%	川越町	14	18	-4	77.8%
伊勢市	46	75	-29	61.3%	多気町	13	20	-7	65.0%
松阪市	92	115	-23	80.0%	明和町	23	33	-10	69.7%
桑名市	64	84	-20	76.2%	大台町	8	9	-1	88.9%
鈴鹿市	77	84	-7	91.7%	玉城町	11	16	-5	68.8%
名張市	44	61	-17	72.1%	度会町	3	3	0	100.0%
尾鷲市	10	11	-1	90.9%	大紀町	8	9	-1	88.9%
亀山市	28	33	-5	84.8%	南伊勢町	10	8	2	125.0%
鳥羽市	9	9	0	100.0%	紀北町	16	14	2	114.3%
熊野市	17	15	2	113.3%	御浜町	5	4	1	125.0%
いなべ市	25	41	-16	61.0%	紀宝町	9	7	2	128.6%
志摩市	26	27	-1	96.3%					
伊賀市	47	50	-3	94.0%	県内不明	22	11	11	200.0%
木曾岬町	15	6	9	250.0%	県外・不明	44	56	-12	78.6%
東員町	17	28	-11	60.7%					
菰野町	31	38	-7	81.6%	合計	1,072	1,284	-212	83.5%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、四日市市、松阪市、鈴鹿市、桑名市の順になっています。

※消費生活苦情相談件数のみの集計です。